



まこと館だより



Est. 1912

発行：至誠学舎立川 編集：法人事務局

理事長閑話 うめ草 ②

平成 29 年度最初の「まこと館だより」です。皆さん気が付いていらっしゃるでしょうか、本年から法人ホームページに「公益事業」の紹介と、「まこと館だより」をアップしています。これは外部への情報発信と同時に、法人職員 1300 名にあまねくこの情報紙を読んでいたきたい、またその折に法人のホームページを覗いて、自分の所属している組織を知ってほしい、という願いからです。紙ベースのものだけではなく、どうぞネットでもこの情報紙をお読みください。チームワークの基盤は「情報の共有化」と「共通の価値観」によって形成されるといわれます。リーダーにもメンバーにも努力が求められるのです。

さて、現在法人は昨年度の社会福祉法の改正を受けて、ガバナンスの強化・確立の努力を続けています。1 月から実現した社会保険の統一化は、職員のキャリアパスを下支えする大きな一歩です。今後一層のマネジメントの強化を図り、法人の理念「まことの心」の下に 1300 人の職員が心を合わせ、それぞれの現場で福祉活動に励める環境を整えます。

新評議員一覧表

法改正に伴い、新しい法人評議員が決まりました。選考は理事会の推薦の下、新たに置かれた「評議員選考・解任委員会」で決められました。新評議員のご紹介です。

理事長 橋本 橋本 正明

杉田 英一	(有)杉田電機工業所代表取締役・民生児童委員
稲垣 美加子	淑徳大学総合福祉学部社会福祉学科教授
林 愛子	マノ精工株式会社代表取締役社長
浅見 義明	保護司・株式会社アサミ 専務取締役
山口 直樹	基督教児童福祉会バット博士記念ホーム事務局長
飯島 ひとみ	錦六会 会長
三上 義樹	至誠学舎東京常務理事・緑寿園園長
長倉真寿美	立教大学コミュニティ福祉学部教授
月田みづえ	昭和女子大学大学院教授
近藤 忠義	元立川社協事務局長・立川市市民相談室
萩原 直登	ヤフー財務オペレーションリーダー

事業本部長メッセージ

アウリンコ発進!! とうとうやって来ました 4 月 1 日の土曜日。あいにくの雨、ラジオが言うには「真冬の寒さ」だそう。九時前に「これより移動開始します」と報告がある。午前后至誠特養からアウリンコへの引っ越し、午後は至誠特養の内部での引っ越し。以前は、毎年のように引っ越しがあって、職員総出で上下左右にベッドや床頭台を引っ張り回し大さわぎをしたものだ。引っ越しが途絶えてもう 10 年どころではない。

十時頃、アウリンコへの利用者異動はほぼ完了との一報。初めての昼食も大きな混乱なく一時頃にはゆっくりとお茶のデイルーム。二階デイサービスも初供用ながら何とか無事進行中とのこと。

「案ずるより産むがやすし」というものの、映画会、講演会、開設式&パーティーという三本立ての記念イベントといい、それに続く今日の 55 名(全員要介護高齢者)の引っ越しといい何をさせても「そつがない」。さすがにアウリンコの各ユニットも、ほぼ半分の人員になった至誠特養のフロアーも空間に比して人数が少ないのでさびしい感じ。裏返せばゆったり、余裕である。フロアーの犬や猫たちも心なしか不安そうに見えなくもない。15 時、至誠特養側もほぼ引っ越しは完了。皆さんご苦労さんでした!!ブラボーっ!!

高齢事業本部長 旭 博之

事業本部情報

◆児童事業本部◆

桜の季節が温かい春の訪れとなりました。先月は高校を卒業し、児童養護施設を巣立っていく子ども達に地域の方々の大勢のご来賓に温かい励ましのお言葉をいただき無事に卒園式を終えることができました。社会的養護を進める私たちにとって大きな喜びと励みであります。感動と涙あふれる温かい会となり職員一同心より感謝申し上げます。さて、新年度を迎え大勢の新任職員と共に子ども達の健やかな生活が新たにスタートいたします。

「明るく、直く、健やかに」をモットーに今年度も子ども一人ひとりの主体性を尊重し、安心できる生活環境をさらに整え豊かな生活を推進してまいります。そして、まことくらぶでは、まことホームアウリンコプラスが、スタートいたします。障害者福祉サービス事業として地域の皆様のご協力を得ながらスタッフ一同努力をしてまいります。よろしくお願いいたします。(櫻井 壽)

◆保育事業本部◆

3月19日(日)保育事業本部合同職員会議を開催、230名の正職職員が一堂に会し平成29年度に向けて、ガバナンスの強化と保育事業本部一体的な運営、全園の事業計画について確認を行いました。職員は保育事業本部としての一体感と『至誠人』であることの自覚と責任感を醸成させながら、平成29年度をスタートさせています。

会の中で至誠の保育の土台を作り、職員を導いてくださった、高橋紘保育事業本部事務局長、成育しせい保育園正岡園長の退任にあたり、お二人の愛歌♪世界に一つだけの花♪糸♪にそれぞれの感謝の気持ちを込め贈りました。『お二人の仕事に対する情熱は太陽より熱かった』永年お疲れ様でした。ありがとうございました。

さて私事ですが4月より高橋紘前事務局長よりバトンを受け保育事業本部事務局長に就任いたしました。重責でございますが皆様のお力をお借りしながら、目標である保育事業本部の体制を充実させ機能させていきたいと思っております。宜しくよろしくお願いいたします。(長谷川育代)

◆高齢事業本部至誠ホーム◆

新しい年度を迎えました。至誠ホームは、新施設アウリンコの仲間以外にも沢山の仲間をいろんな部署で迎えました。私達の至誠学舎立川はいい環境に囲まれています。根川や沢山の桜が迎えてくれていますが、木々、川だけでなくいい人の集まりです。

平成23年度法人全体で職員を対象に意識調査『モラールサーベイ』を実施しました。950人による意識調査の結果(回答887人)、とても高い満足度であることが解りいい職場であることが感じ取れました。

いい人が集まってくるのか、至誠学舎立川に入職していい人の集まりになるのか、どちらかは皆さんお考えください。

環境というものは「その人の心が決める」のだと思います。皆で学んでいい環境を造ってまいりましょう。(金井 裕一)

本部事務局だより

4月1日より法人本部事務局長となりました野島忠幸です。よろしくお願いいたします。私の略歴は、昨年6月末までの6年間は工作機械メーカーの常勤監査役としており、それ以前は明治安田生命に勤めておりました。常勤監査役は何をしているか、なかなか分かりにくいと思いますが、一言で言うならば、「会社が事業の目的に向かって正しく運営されているか」ということを見張るという役割です。とかく会社は、東芝にしてもシャープにしても、良かれと思って経営しても、業界の常識だけで判断すると時代の変化とその対応を誤ってしまいがちです。ましてや失敗を糊塗しようと粉飾決算などすると最悪倒産まであります。監査役はそうなる前に警鐘をならして、軌道修正を求めることが仕事なのです。さて私は、4月1日から法人本部事務局長となりましたが、これまでの経験を生かして、至誠学舎立川が時代の変化を先取りし、ますます社会の信頼を得て発展していくことに、少しでも寄与できればと思っております。よろしくお願いいたします。(野島 忠幸)

<編集後>今年の新採用者辞令式には間に合いませんでしたが、少し遅めに根川の桜がやっと例年通り見事に咲きほこり、川沿いに桜を目当てに沢山の人が散歩している姿を見ることが出来ます。